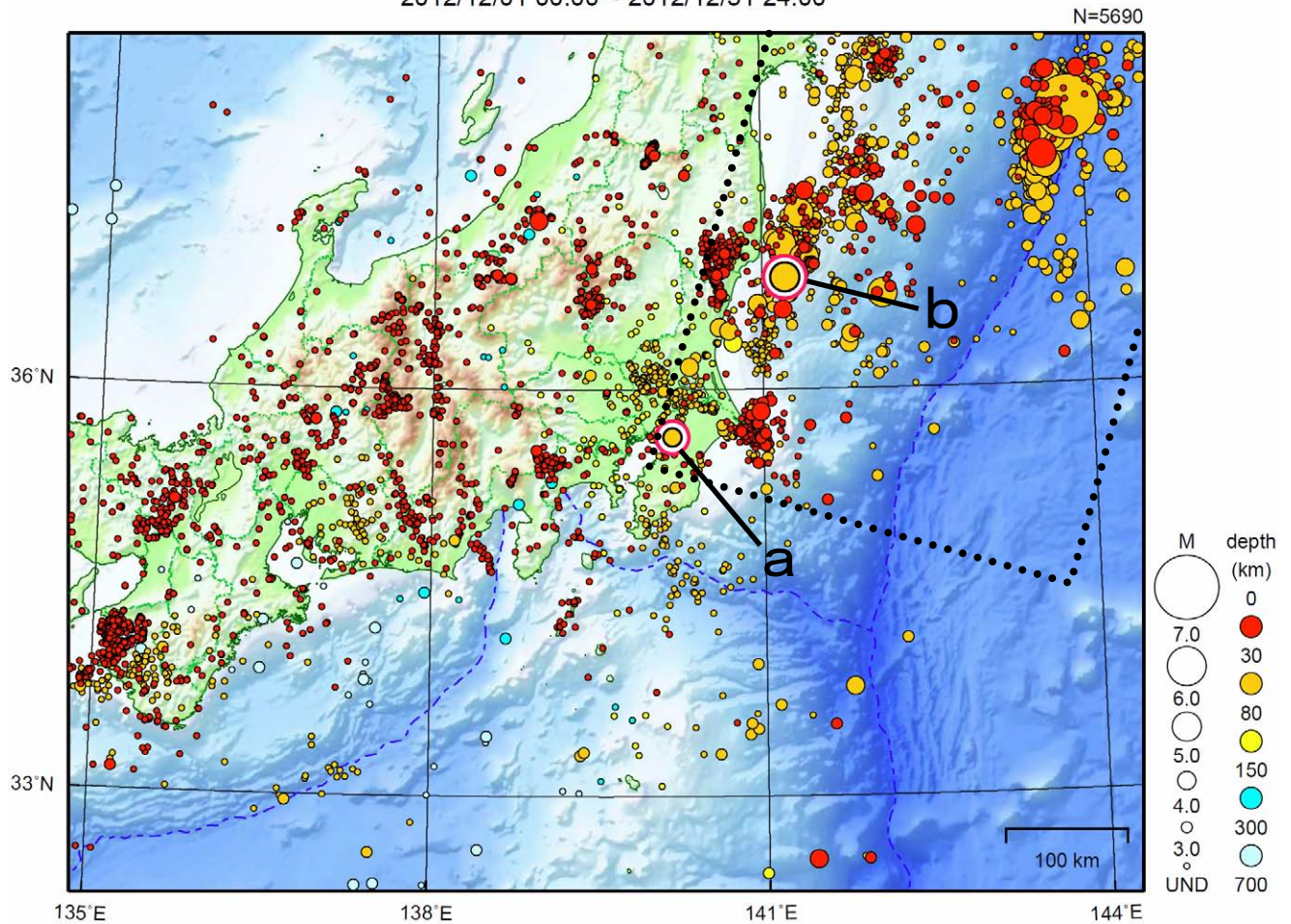


関東・中部地方

2012/12/01 00:00 ~ 2012/12/31 24:00



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

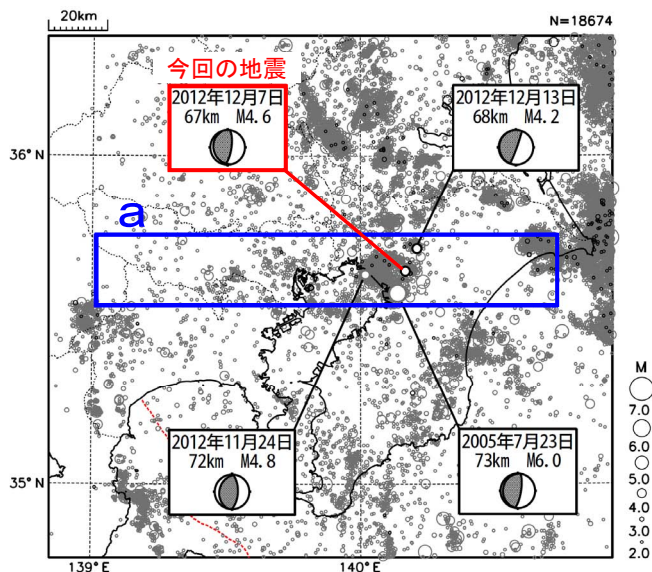
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 12 月 7 日に千葉県北西部で M4.6 の地震（最大震度 3）が発生した。
- b) 12 月 15 日に茨城県沖で M5.0 の地震（最大震度 4）が発生した。

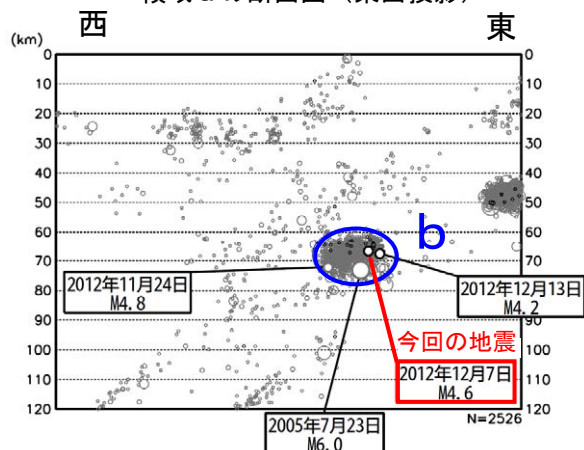
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

12月7日 千葉県北西部の地震

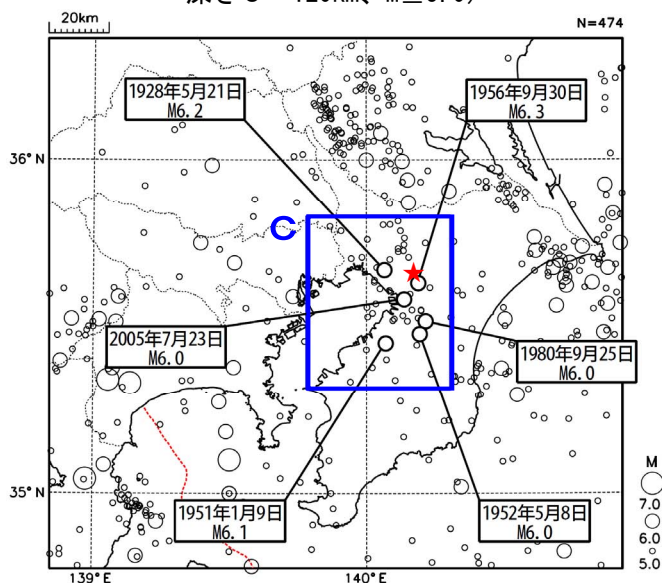
震央分布図（1997年10月1日～2012年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ ）
2012年12月の地震を濃く表示



領域aの断面図（東西投影）



震央分布図（1923年1月1日～2012年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



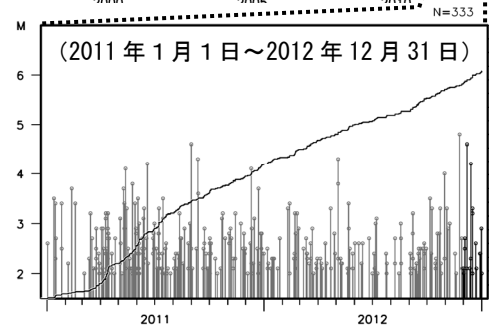
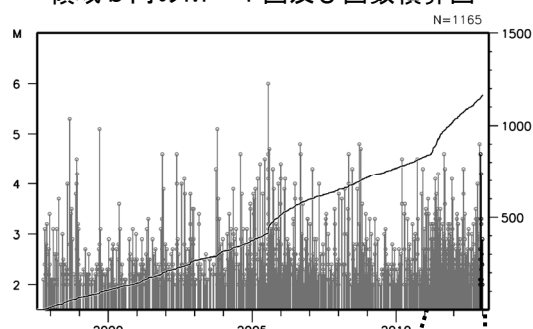
★は今回の地震の震央位置

2012年12月7日05時32分に千葉県北西部の深さ67kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。また、今回の地震の震源付近（領域b）では13日にもM4.2の地震（最大震度2）が発生している。

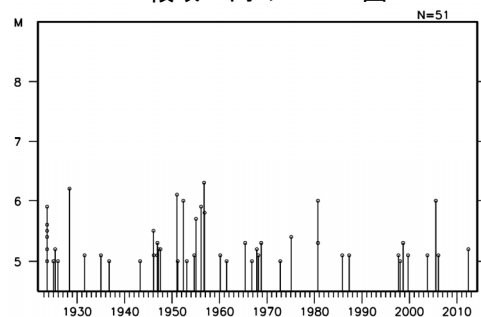
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）は、活動が活発な領域でM4.0以上の地震がしばしば発生しており、2012年11月24日にもM4.8の地震（最大震度4）が発生している。また、2005年7月23日に発生したM6.0の地震（最大震度5強）では、負傷者38人、住家一部破損12棟などの被害を生じた（総務省消防庁による）。「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動がより活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1980年9月25日に発生したM6.0の地震（最大震度4）では、死者2人、負傷者73人などの被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

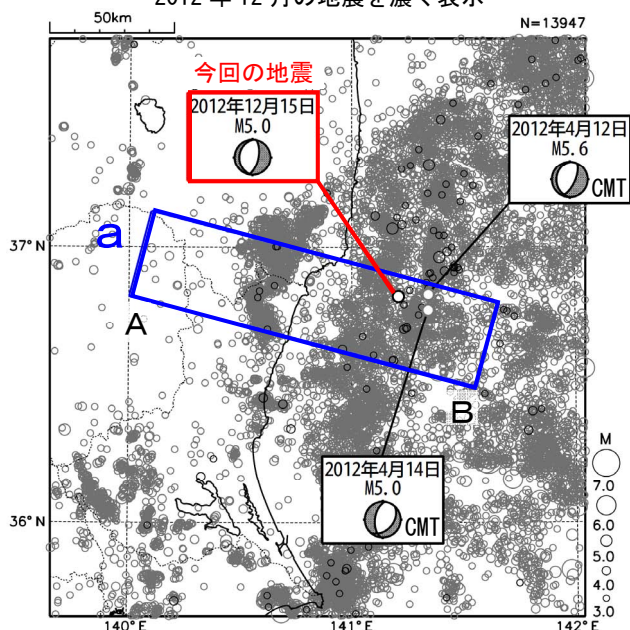


12月15日 茨城県沖の地震

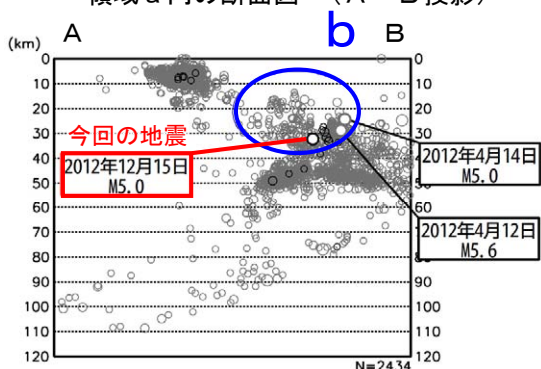
震央分布図※

(1997年10月1日～2012年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

2012年12月の地震を濃く表示

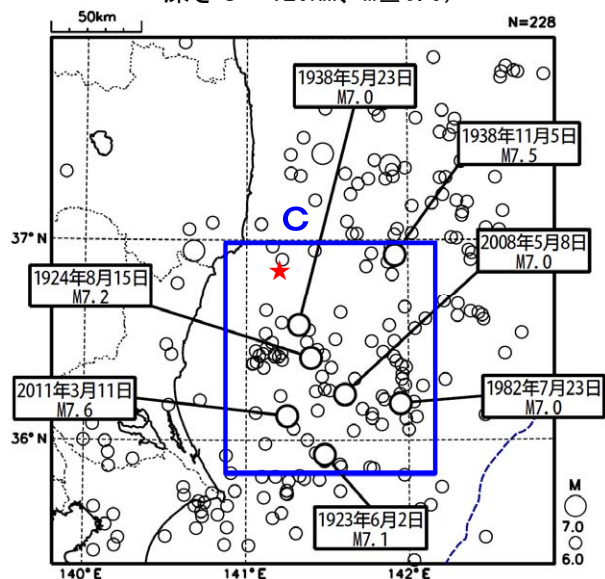


領域a内の断面図※ (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2012年12月31日、
深さ0～120km、 $M \geq 6.0$)



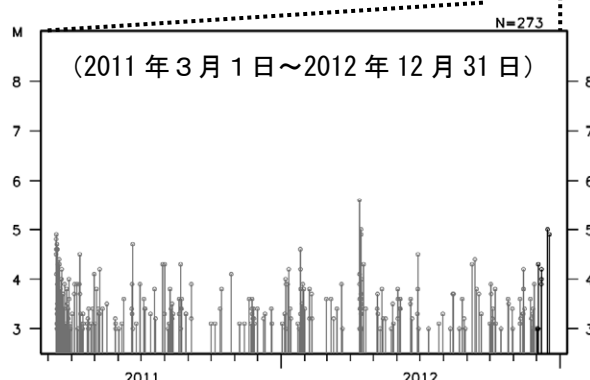
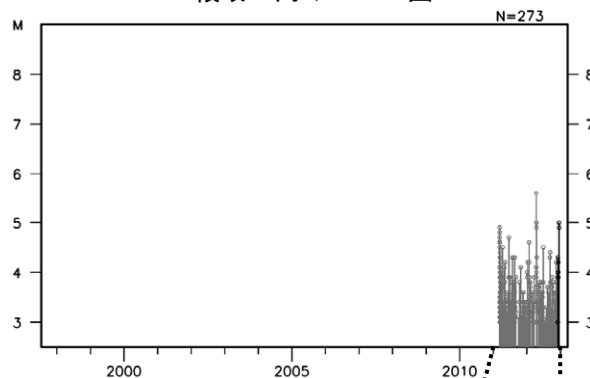
★は今回の地震の震央位置

2012年12月15日14時46分に茨城県沖でM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構は東西方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M3.0以上の地震は発生していなかったが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生後、地震活動が活発になり、M4.0以上の地震がしばしば発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。最大の地震は2011年3月11日に発生したM7.6の地震 (東北地方太平洋沖地震の最大余震、最大震度6強) である。

領域b内のM-T図※



※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域c内のM-T図

